

- 座席 -

座席の配置が従来の馬蹄形状から、どの席からも映像が見やすい一方扇形に変わりました。前列の14席は移動席で、車椅子スペースの確保が可能です。座席の一番前には多目的スペースを確保し、ステージや団体利用の滞留スペースとして利用することができますようになりました。また、非常時にもすみやかな移動が可能となるように通路幅を確保しています。座席数 122席



特集

和歌山市立こども科学館 プラネタリウム

3月2日(土)

リニューアルオープン

昭和から平成にかけて37年間にわたり多くの市民へ星空を届けてきた、和歌山市立こども科学館のプラネタリウムが新しく生まれ変わります。

みなさんはプラネタリウムにどのような思い出をお持ちでしょうか。市内で生まれ育った方にとっては、小さい頃に連れていってもらったとか、初めて見たのがこども科学館のプラネタリウム、という方も多いのではないのでしょうか。

今も中学生以下の児童生徒だけで、年間2万人以上の観覧者があります。また、こども科学館への来館者の半数以上がプラネタリウムも観覧していくなど、私たちには身近な存在のプラネタリウムとなっています。なお、現在、常設のものとしては県内唯一のプラネタリウムでもあります。

昭和56年のこども科学館開館以来、初めて全面リニューアルされたプラネタリウム。これからも、新世代の設備と技術で、限りなく本物に近い星空を私たちにとどけてくれるでしょう。

- 特徴 -

全光源にLEDを採用

明るくシャープな星を投影します。背景の黒はより黒く、暗い星でも正確でメリハリのある投影が可能です。

恒星の投影数が約9,000個に

従来機と比べ1.5倍に増加しました。これは、肉眼で見える約6.5等星までの数です。

星の色・瞬きをリアルに再現

双眼鏡で覗いてもリアルな星雲・星団・近傍銀河、変光星(光度が変化する恒星)朝夕焼け・薄明薄暮の投影に加え、大気の影響で星の見かけの明るさが暗くなる現象も投影が可能です。

星空の解説をより分かりやすく

従来の機器では投影数に制限のあった星座絵、星座線、目印などの投影数が80種に拡大しました。

全国で3番目(近畿では初)の採用

主投影機 **Cosmo Leap Σ**

コニカミノルタプラネタリウム株式会社製

- 4Kデジタル投影機 -

高解像の4Kプロジェクターを2台配置し、全天周につながる目のない映像を投影します。高コントラストを実現することで、主投影機からの美しい星の輝きを妨げず、ドームスクリーンに高精細・高臨場映像を投影します。

日食、月食、星食等はもちろんのこと、彗星、小惑星、流星など地上から見える天体のさまざまな現象の投影が可能になりました。学習投影や星空解説をより充実したものにでき、天文教育の幅広い用途への活用が期待できます。



世代を超えて楽しめる プラネタリウム

-
- ▣
- ▤
- ▥
- ▧
- ▨
- ▩
-
- ▣
- ▤
- ▥
- ▧
- ▨
- ▩
-
- □



- ▣
- □ □
- □
- □



- ▣
- ▣
- ▣
- ▣
-
- ▣
- ▣
- ▣
- ▣
- ▣

- ▣
-

プラネタリウムの
投影時間・番組

| □ | □ |
|-------------------|---------------|
| □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 「本日の星空解説」 |
| □ □ □ □ □ □ □ □ | 「星の旅 - 世界編 -」 |
| □ | |

し
る
を
る
して
して

| | | |
|---------------|-------------------|---|
| □ □ □ □ □ □ □ | □ □ □ □ □ □ □ □ □ | □ |
| ▣ | □ □ □ | □ |
| □ □ □ | □ □ □ | □ |
| ▣ | | |
| ▣ | | |



り
し